

アジア 3 R 推進フォーラムについて

1. 経緯

我が国は、アジアの途上国における廃棄物の適正処理や 3 R の推進による循環型社会構築に向けて、各国政府、国際機関、援助機関といった多様な関係者が協調した取組を進めていくための基盤となる「アジア 3 R 推進フォーラム」の設立を、平成 20 年 10 月にハノイで開催された東アジア環境大臣会合において提案し、各国の賛同を得た。

これを受け、環境省と国連地域開発センター（UNCRD）は、「アジア 3 R 推進フォーラム設立会合」を平成 21 年 11 月に東京で開催した。同会合においては「東京 3 R 宣言」が参加者により合意され、「アジア 3 R 推進フォーラム」が設立された。同フォーラム第 2 回会合を平成 22 年 10 月にマレーシアにて開催予定。

2. アジア 3 R 推進フォーラム第 2 回会合

主催：環境省、国連地域開発センター（UNCRD）、マレーシア住宅地方自治省

日時：平成 22 年 10 月 4 日～6 日 開催予定

場所：マレーシア（クアラルンプール）

テーマ：“3Rs for Green Economy and Sound Material-Cycle Society”

「グリーン経済と循環型社会に向けた 3 R」

参考 アジア 3 R 推進フォーラム設立会合

主催：環境省、国連地域開発センター（UNCRD）

日時：平成 21 年 11 月 11 日～12 日

場所：東京

出席者：アジア 15 カ国（大臣含む）、16 国際機関の代表、専門家

全体議長：大谷信盛環境大臣政務官

成果：「アジア 3 R 推進フォーラムの設立についての東京 3 R 宣言」の採択

- ・ハイレベルによる政策対話の定期的開催
- ・3 R に関するプロジェクト実施への国際機関、援助機関の支援
- ・3 R に関する優良事例、技術情報の共有

アジア 3 R 推進市民フォーラムについて

1. 経緯

我が国の 3 R 推進のために活動する NGO が日本とアジア地域内の市民と共に、くらしや地域での 3 R 実践の重要性を共有し、政府や企業とも協働しながら持続可能な循環型社会を構築するための市民の知恵と意見を集約することを目的に、アジアの NGO とも連携し、「アジア 3 R 推進市民フォーラム」を開催。

平成 21 年 11 月 10 日に「アジア 3 R 推進フォーラム設立会合」と併せて開催。平成 22 年 9 月 4 日に「アジア 3 R 推進市民フォーラム日本大会」を開催した。また平成 22 年 10 月にマレーシアで開催されるアジア 3 R 推進フォーラム第 2 回会合においても、サイドイベントとして NGO による会合を開催予定。

2. アジア 3 R 推進市民フォーラム日本大会

主催：アジア 3 R 推進市民ネットワーク

NPO 法人 持続可能な社会をつくる元気ネット

日時：平成 22 年 9 月 4 日

開催場所： 東京

テーマ：ゼロ・ウェイストのアジアをめざして

成果：ステートメントを採択

アジア 3 R 推進市民ネットワーク構成 NGO・NPO (15 団体)〔五十音順〕

アジアごみ問題研究会、WE21 ジャパン、FoE Japan、

環境パートナーシップ会議、環境文明 21、JEAN、

持続可能な社会をつくる元気ネット、循環生活研究所、

菜の花プロジェクトネットワーク、

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)

東アジア環境情報発電所、ファイバーリサイクル推進協会、富士山クラブ、

有機農産物普及・堆肥化推進協会、リユース食器ネットワーク

参考 アジア 3 R 推進市民フォーラム

日時：平成 21 年 11 月 10 日

(11 日～12 日「アジア 3 R 推進フォーラム設立会合」と同時開催)

開催場所： 東京

出席者：日本から 13 の NGO、インドネシア、韓国、中国から NGO 3 団体ほか